



# すこやか

苅田町青少年育成町民会議だより



## 人形劇で「オアシス運動」



苅田町青少年育成町民会議では、社会生活の基本であり、子どもの健全な成長にとつて大きな影響を与える“あいさつ”を励行する「オアシス運動」に取り組んでいます。今年も、各校区のお話会の皆様（読み聞かせを広める会「マザーグース」濱田順子代表）の協力で町内の幼稚園や保育園で6月4日から人形劇による「オアシス運動」を推進しています。

心豊かで  
たくましい 青少年の育成を目指しましょう。

# 平成21年度苅田町青少年育成町民会議 第21回 総会

とき：平成21年4月28日（火）

ところ：三原文化会館 大ホール

- 平成21年度の主要事業計画**
- 4月 ○防犯広報活動(年間毎週一回)
  - 理事会
  - 総会
  - 少年を守る日補導  
(毎月第3水曜日)
  - 5月 ○港まつり花火大会会場警備
  - 6月 ○オアシス人形劇公演  
(対象：幼稚園・保育園)
  - 7月 青少年を非行から守る  
全国強調月間
    - 有害図書要望訪問
    - オアシス人形劇公演  
(対象：幼稚園・保育園)
    - 夏休み特別補導
    - すこやか59号発行
    - 第5回苅田町イカダ大会
    - シンナー等薬物乱用防止講演会
  - 8月 ○夏休み特別補導
  - 苅田駅前盆踊補導
  - 苅田町盆踊補導
  - 9月 いじめストップ強調月間
    - いじめストップ  
キャンペーン実施
    - 健全育成講演会
  - 10月 ○神幸祭補導
  - 子どもフェスティバル
  - 先進地研修視察
  - オアシス等入選者表彰
  - 朝の声かけ運動
  - 11月 全国青少年健全育成強化月間
    - すこやか60号発行
  - 12月 ○年末年始特別補導
  - 1月 ○年末年始特別補導
  - 2月 ○どんど焼き補導
  - 家庭教育講座
  - 3月 ○役員・委員講演会
  - 春休み特別補導
  - すこやか61号発行
  - ふれあいマラソン大会後援



三役の方々					
理事長	森 實生 氏	副会長	吉廣 啓子 氏	会長	千原 勲 氏
					三角 氏
					主計 氏
					吉廣 啓子 氏



## 平成21年度事業計画 活動方針

《重点目標》としては、

1. 地域・校区単位で子どもたちを中心とした異年齢交流を促進し、各種体験活動や遊びを共にする場を数多く提供していくよう努める。
2. 心のふれあいを重視し、携帯電話問題をはじめ、少年犯罪、非行防止活動及び不審者等から、子どもたちを守る啓発活動を積極的に推進する。
3. 苅田町が取り組んでいる「苅田町非行防止推進事業」活動に賛同し、積極的に参画していく。
4. 青少年問題に関する、広報、啓発活動を一層推進する。

以上をふまえて、これから青少年の健全育成を推進してまいります。

平成21年4月28日（火）  
苅田町青少年育成町民会議第21回総会が開かれました。来賓として、行橋警察署生活安全課長家永英明氏、苅田町議會議長武内幸次郎氏がご出席下さいました。

吉廣町長の挨拶から始まり、昨年度の主な事業と決算報告があり、今年度の事業計画案などを提出しました。

また、役員改選に係わる新役員（3役）は、次の一とおりです。2年間よろしくお願いいたします。

平成21年度・22年度の新役員（3役）は、次の一とおりです。2年間よろしくお願いいたします。

# 7月は青少年を非行から守る強調月間

この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう。

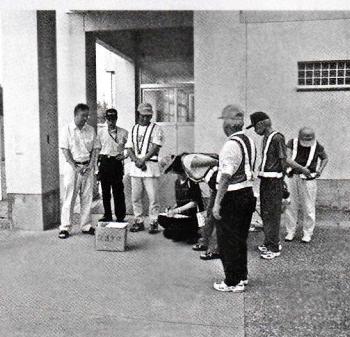
青少年を非行から守る全国強調月間にあたり苅田町青少年育成町民会議では、その取り組みのひとつとして、「有害環境の浄化推進」運動を行っています。

◇その1：役場玄関東側に懸垂幕を掲げ、町民の周知を図る。

◇その2：青少年に有害な図書・図画等の販売について、配慮のための町内書籍・ビデオ店訪問。

夜  
間

パ  
ト  
ロ  
ール



▲新津中学校にて

## 不審者・変質者の出没について

4月に入ってから6月末までに4件（昨年度同時期9件）の不審者・変質者が出来ています。子どもたちが被害に遭う前に防ぎたいものです。町民皆様のご協力・ご支援により児童・生徒の安全を見守ってください。

### 出没状況

□場所 馬場、苅田駅付近  
西工大付近、  
苅田小学校付近

□対象者 児童生徒

□被害 「声かけ」「下半身露出」  
「写真撮影」



不審者等に気付いたら、すぐ110番または、近くの学校へ連絡ください。

## 「非行防止コーディネーター」の配置について

苅田町教育委員会では、学校との連携による少年の非行防止及び犯罪被害防止を目的に平成18年4月1日から、「非行防止コーディネーター」を導入しています。

本年4月1日付で、経験豊富な警察OBの鈴木義郎氏が配置され、苅田町の各小・中学校において教育委員会と学校と警察のパイプ役を務めています。

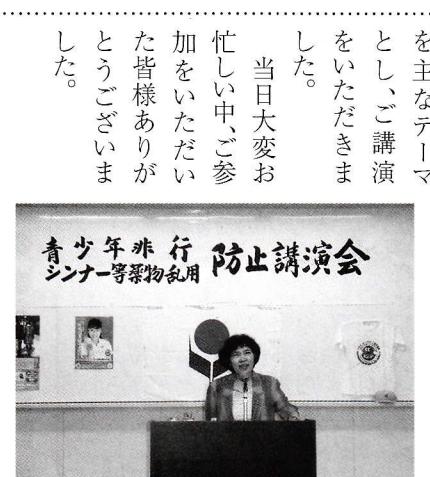
活動としては、



- 青色回転灯を装着した青色パトロールカーによる町内巡回
- 児童生徒の登下校時に子どもたちを守る活動
- 非行防止学習等への支援等の各種活動を行っております。

子どもたちを見守る「抑止力」

当日は、学校、PTAなど多くの方々のご参加をいただき、講演会を開催いたしました。講演内容は、健康や生命を危うくする薬物乱用について、正



演題

講師 平成21年7月3日(金)  
場所 荻田町立中央公民館  
第5研修室  
講師 北九州市子どもセンター  
くろさき少年支援室  
相談員 春藤和代氏  
体に対する悪影響、自分  
の将来に与える影響について

日時 平成21年7月3日(金)  
場所 荻田町立中央公民館  
第5研修室  
講師 北九州市子どもセンター  
くろさき少年支援室  
相談員 春藤和代氏  
体に対する悪影響、自分  
の将来に与える影響について

しく理解し、子どもたちを守るためにには、家庭、学校、地域住民、関係団体などの連携がより一層重要になってくるといったこと

少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会開催される。

# 通学合宿

●期間 6/14~6/20  
●場所 中央公民館

1週間  
がんばったぞ！ ウオッチャン



今年で第7回目の通学合宿が6/14~6/20の1週間、中央公民館で行われました。今回は、2年~6年生の子どもたちで56名の参加でした。近所の方は、朝8時ぐらいになると子どもたちが元気に登校する光景を見かけられましたことだと思います。

この通学合宿は、子どもたちが献立を作り、買い物、料理、洗濯、風呂掃除などの日常の生活を自分たちだけで体験する場です。家族に会えず、ホームシックになる子もいます。

親に言わせて参加した子、自分で考えて参加した子、友だちと参加した子、いろいろ参加理由は、ありますが、心は、ドキドキ、「友だちできるかなあ～、意地悪されないかなあ～」の1週間。無事終了することができました。



元気な子どもたち！



子どもたちの中には、友だちと風呂に入ったこと、買い物に行ったこと、洗濯板やコインランドリーでの洗濯等…と思い出がいっぱいです。たくさんの人との交流、もらい風呂での地域の方の温かさを感じ、感謝の心を体感したことでしょう。

この合宿を通して、南原小・馬場小の子どもたちがふれあうことができました。支えてくださった方々、ありがとうございました。

“子どもたちよ、お疲れ様！ 大きく育ってね”



## バアーバアの一言 No.10



バア～バアの孫は、満一歳になりました。机の周りをつたい歩きし、手を引くとよちよち歩きます。時には可愛い仕草(芸)もしてくれます。

そんな孫の全身に発疹状態!!「突発性発疹」かな？ぐずる孫、あやしている母(我が娘)に「がんばれ」と心で話かけて、その場を離れて静かに見守ります。この時期の子育ては大変で、大切な時期だと思います。母親の鋭い観察力で子どもの願いや体調がわかります。また子どもの一番の理解者は母親です。まもなくすると子どもは外の世界に興味がわいてくるでしょう。子どもは母との信頼関係が深いほど外の世界にチャレンジし、いろいろな体験をしたがります。

これからは、子ども同士の遊びが大切になります。遊びを通して他者と交わり、他者を認識し社会性を育んでいきます。このような時に親として心がけておかなければならぬのは、子どもには「失敗体験と成功体験」の調和がとれていることが大切だと思うのです。子どもも大きく育とうと頑張っています。母親もそれを倍にして頑張って欲しいのです。

子育てを支援しようと思っている50歳から65歳くらいの、「母親OB」の方も沢山おられます。こんな方の知恵と経験を受け入れる、母親の心の広さが求められます。お母さんとしての大きな引き出しを持っていると、そんな方の引き出しから多くのことが得られます。バア～バア位の人と付き合うのも子育てで大事なことの一つだと思うのです。

## 田植え 5・31 黒添にある子どもたちの田んぼで！



黒添の皆さんのがかりで、田植えの体験をすることができました。まずは、田んぼで米が沢山採れますようにと、田植えの前にどろんこ大会を行いました。まるで、田んぼの妖精が出て来て、飛び跳ねている様子でした。子どもたちは、ドッヂボール、ソリレースなどをしてから、田植え準備にとりかかりました。



苗よ、大きくなつて  
沢山の実をつけよ。



# 等覚寺松会

に参加しました。

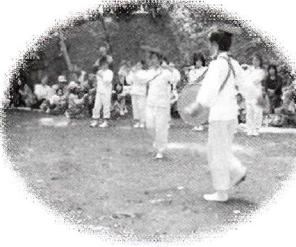


4月19日(金)に白川小学  
校の4年生が「等覚寺の松会」  
(国指定重要無形民族文化財)  
に参加しました。

10日(金)に「松会」の行  
われる白山多賀神社まで行き  
地域の方に指導していただき  
たり、先輩(5年生)から教  
えてもらつたりしながら、田  
打ちと樂打ちに分かれ、練習  
に励みました。当日は、見事  
練習の成果を披露することが  
できました。



## 樂打ち

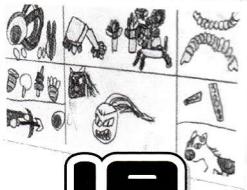


## 田打ち



題「等覚寺の松会」名前(中野あみか)		
	4月	19日 日曜日
わたしは田植え田打ちでした。		
いとこのひろあきとひろあきのママとお母さんとおねえちゃんがきこれました。わたしは田打ちはうまくたけれど、田植えのときハープ二ヶ音ゲゲおきました。それは、またまたかぶつているかさかおちてしまいました。わたしはすぐにひろあきぶりました。ほんとしたときこんじはかみとだけがスボッととれこしました。		
すびくたのしかったです。 おかげからみんなで写真六をとりました。		

題「等覚寺の松会」名前(松蔭夢叶)		
	4月	19日 日曜日
今日は松会がありました。まずやはいをしながらたのですごかったです。それで、黒おにがおもしろかったです。まず、樂打ちのまえに田植え田打ちがありました。みんな上手でしゃべりがはじまるまえは、きんちよつしてたのにやっていたら、きんちよつになりました。うわしかったです。松会に出れるのは、白川小だけなので、白川小でよかったです。と思いました。楽しかったです。		



## 児童の感想



# 子どもの大事なサインを見逃していませんか？

保護者は、常に子どもに関心をもち、「自分の子どもはどんなことがあっても自分が守る」という信念を持つことが大事です。その信念をもつことだけで子どもには、「愛情」が伝わるもののです。

## 家庭のあり方 6力条

しつけは家庭が基本です。

次の6点に注意して

しっかりと子どもを育てましょう。

### ①子どもとの対話を深める



- 子どもの話をしっかりと聞きましょう。
- 保護者からの声かけを忘れないようにしましょう。
- 保護者としての意見をはっきりと言いましょう。
- 良い点をほめ、自信をつけさせましょう。
- 叱るべきときは、愛情をもって冷静に叱りましょう。
- ふれあいの機会を多くもうけましょう。

### ③思いやりの心を育てる



- 他人に対するやさしさ、思いやりの心を育てましょう。
- 動物をかわいがり、命の尊さを教えましょう。
- 相手の立場に立った行動をとるよう教えましょう。

### ⑤子ども同士の関わりを大切に



- 保護者の感覚で子どもの友達を選ばないようにしましょう。
- 保護者同士の連絡をとりあいましょう。
- 保護者も地域の行事には極力参加しましょう。

### ②基本的生活習慣の習得



- 家族からあいさつの輪を広げましょう。
- 朝ご飯をしっかりと食べましょう。
- 家族一人ひとりの役割を決めましょう。
- テレビやゲームの時間を決めましょう。
- 読書に親しむ環境をつくりましょう。

### ④我慢する力をつける



- 子どもの欲求は、むやみに満たさせないようにならしめましょう。
- つらいことでも最後までやらせましょう。
- 約束は必ず守らせるようにしましょう。

### ⑥子どものお手本となるように



- 良いことは自ら率先して行動しましょう。
- まず、自分自身を省みて、子どもの手本となるよう努めましょう。

平成21年度すこやか編集委員会  
委員長 編集委員会  
古門 伸介



編集・発行  
萩田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
0934・9838

### 編集後記

今年度初めて、「すこやか」の編集委員をさせて頂くことになりました。担当のページでは、萩田町内にある小中学校の子どもたちの生き生きとした姿が、少しでもみなさんに伝えられれば良いなと思っています。今回は「等覚寺の松会」に参加した、白川小学校の子どもたちの様子を載せました。快く記事を書きことを引き受けてくれた、白川小の先生に感謝します。文書を書くのは苦手ですが、これからもいろんな人に支えられながら頑張ります。

古門 伸介